

対象機種	一般形蛍光灯埋込ダウンライト		T/Flecs ^{マイフレックス}
適合器具	FHD-31015-MD9	FHD-41015-MD9	
適合ランプ	32Wユーライン3 (FHT32)	42Wユーライン3 (FHT42)	
埋込穴寸法	φ150		

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。 ●素人工事は法律で禁じられています。

この器具は、電源電圧100/200/242V共用の電子安定器を採用しております。また電源周波数に関係なくご使用できます。

- 安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。 ！ 取り付け 電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取り付けかた」に従って行ってください。曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。 ！ 電源線接続 この器具は屋内用です。屋外、軒下および湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。絶縁不良、感電等の原因となります。 ⊘ 使用環境	アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因になります。 (D種(第三種)接地工事) アース工事 この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井、壁面には、取り付けしないでください。指定以外の取り付けを行うと器具落下の原因となります。 ！ 方向性	この器具の送りは、15Aまでです。超えて使用しますと、感電、発熱、火災の原因となります。 ！ 送り 器具を改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。 ⊘ 改造 この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。 ⊘ 振動の激しい場所
■この器具は断熱施工不可です。 この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、取扱説明書内の「断熱材・防音材の施工方法」に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。 ⊘ 断熱施工		

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因になります。 ⊘ 温度 屋外	器具表示された電源電圧（定格電圧±6%以内）以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。） ⊘ 電源電圧	
換気方式などにより風がランプに流れるような設置場所は避けてください。照度低下の原因となります。 ⊘ 設置場所	器具同士は密着させたり、集合させて使用しますと、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。 ⚠ 器具の密着	

お客様へ

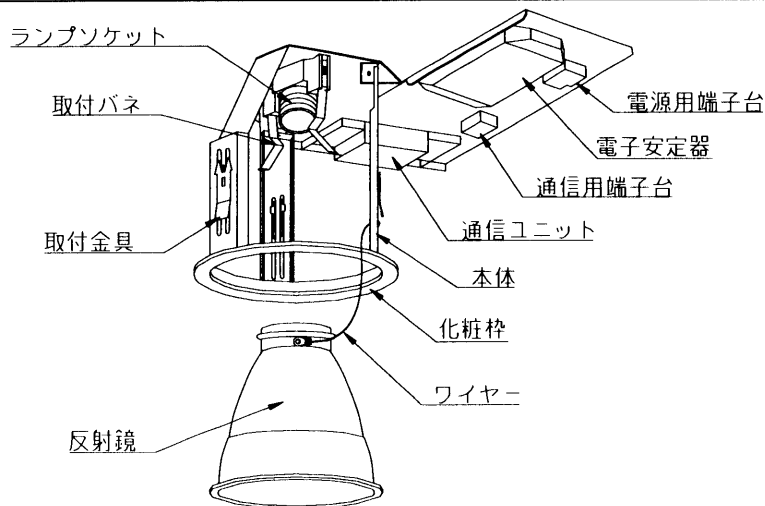
使用上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 ●ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。	●器具の隙間や放熱穴に金属物などを差し込まないでください。感電や火災などの原因となります。 ●ランプ交換の際は、必ず本体表示ならびに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	
●点灯中および消灯直後(約20分)はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。 ●器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。 ●器具を洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電などの原因となります。	●器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。 ●ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布でふいてください。
●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。 ●1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。） ●点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。	

お願い ●ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
--

■各部のなまえ



※この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

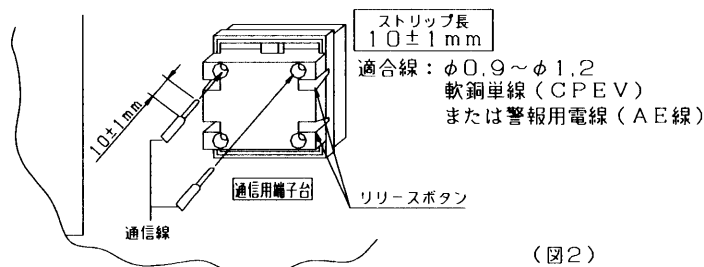
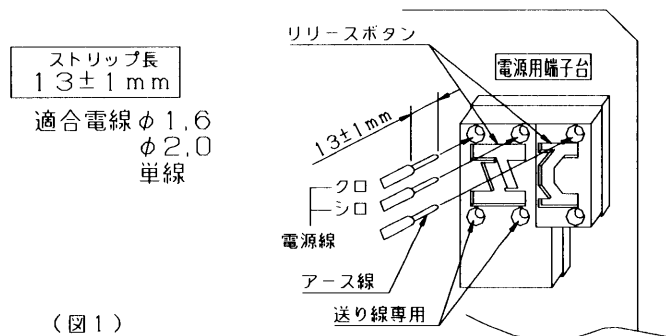
■器具の取り付けかた

1 器具の埋込穴

- 天井に埋込穴 ($\phi 150 \pm 2\text{mm}$) をあけてください。
- 取付前に器具重量に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
※ロックウール等、柔らかい天井材に取り付ける場合には、必ず取付金具と天井との間に補強材をいれてください。
※取付可能天井厚は、3mm～25mmです。

2 電源線の接続

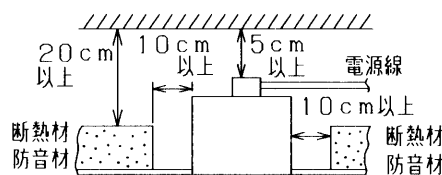
- 電源線の被覆を(図1)のように、通信線の被覆を(図2)のように所定の長さにストリップしてください。
- 電源線を(図1)のように確実に端子台の奥まで差し込んでください。
※曲がった電線を挿入したり、ねじって挿入しないでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。
- アース線を用いてD種(第三種)接地工事を施してください。
※アースが不完全な場合には感電の原因となります。また、ランプの不点、黒化の原因となる場合があります。
- 送り配線は、照明器具専用です。
※送り容量は本体表示に従い、15A以下で使用してください。
- 器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。(図3)
- 通信線を通信用端子台の奥まで差し込んでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。
※通信用端子台にMEL信号線や調光器信号線を接続した場合、故障の原因になります
- 電源線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスドライバーで強く押しながら電源線を引き抜いてください。



3 断熱材・防音材の施工方法

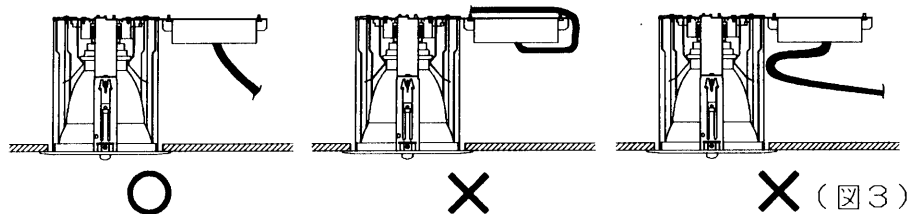
住宅の断熱施工天井ではご使用できません
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法

- 電源線は断熱材・防音材の上側にくるように配線してください。
- 器具本体に電源線を接触させないでください。



■器具の取り付けかた

4 配線方法



器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。

5 器具の施工方法

注) 取り付けに不備がありますと落下の原因となります。

1. 本体を(図4)の方向から埋込穴に挿入し、(図4)に従い本体を矢印①方向に回した後、矢印②方向へ本体を押し上げてください。挿入後(図5)に従い、本体を取付金具(3ヶ所)で天井に固定してください。

2. 反射鏡を本体に取り付けてください。

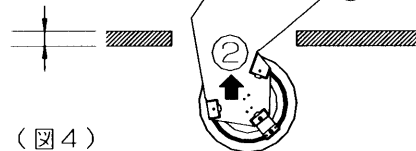
※落下防止ワイヤーを取付バネと反射鏡、及び本体と反射鏡などの間にはさまないように取り付けてください。

3. ランプ(別梱包)をランプソケットに確実に取り付けてください。

※ランプの着脱方法参照。

※ガラス部分を強く握らないでください。割れる恐れがあります。

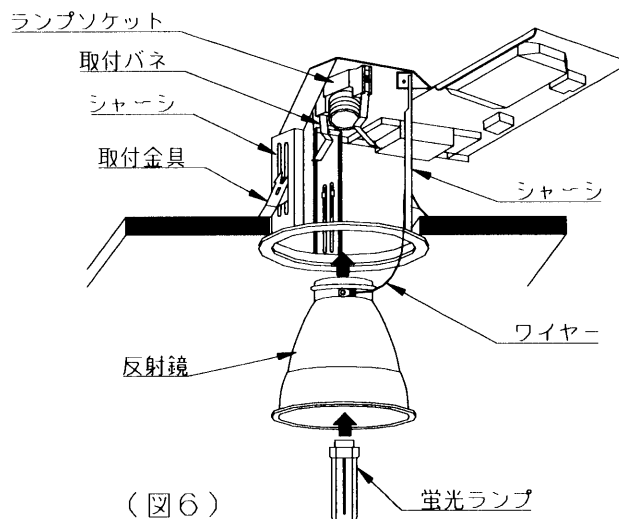
取付可能天井厚
3mm~25mm



(図4)



(図5)

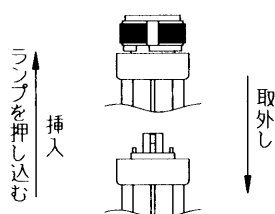


(図6)

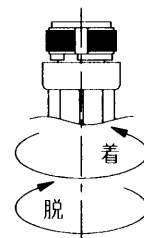
■ランプの着脱方法

1. ランプ取り付け手順

手順1: ランプをソケットに合わせてまっすぐに挿入した上で、ランプをソケットに密着するように押し込む。



手順2: ランプを押し込みながら、時計方向(下図矢印にて示す)に回す。



2. ランプ取り外し手順

「ランプ取り付け手順」の逆手順

■取り付け上及び取り扱い上の注意事項

- この照明器具は、T/Flecsシステム専用の器具です。機器の制御ならびに初期設定には、専用の通信ユニット・コントローラ等が必要です。
- 通信ユニット1台に接続できる端末（照明器具、センサ、壁スイッチ）の台数には制限があり、下記条件を同時に満たしてください。
 - ①種類を問わず合計60台以下。
 - ②接続した端末の信号消費電流の合計 500mA以下。

信号消費電流	10mA
入力信号電圧	±12V
- エリアコントローラ、通信ユニットの機器間は30m（見通し距離）範囲内で設置をしてください。
- T/Flecs信号線の配線は必ず送り配線とし、ループ配線はしないでください。誤動作の原因となります。
- 電源線（2線）T/Flecs信号線（2線）が必要になります。
- T/Flecs信号線は、φ0.9、φ1.2の銅単線（CPEV）、AE線をご使用ください。
- 通信ユニットと照明器具との総配線長は、φ0.9の場合200m以下（通信ユニットと器具間は100m以下）、φ1.2の場合400m以下（通信ユニットと器具間は200m以下）としてください。
- 各照明器具には各種設定が必要です。設定をおこなわないと全光点灯（100%点灯）のままとなります。専用のT/Flecs設定器をお買いもとめいただき、設定をおこなってください。設定器については個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。（セード・グローブなどは含まれません。）

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41 受付時間：365日 24時間

携帯電話からのご利用は 0570-06-4114（通話料：有料）

PHSなどからのご利用は 0173-38-3168（通話料：有料）

お買い物・お取り扱いのご相談

フリーダイヤル 0120-1048-86 受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなどからのご利用は 03-3426-1048（通話料：有料）

FAXでのご利用は 03-3425-2101（通話料：有料）

- 「東芝家電修理ご相談センター」は、東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 電材事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13（南品川JNビル） TEL (03) 5463-8768 FAX (03) 5463-8824

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

0031831A